

Q 第6次鶴ヶ島市総合計画について

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



A 30年後を想定しながら10年後の姿を考えていく

問 第6次総合計画の策定状況は。

答 平成30年5月に決定した第6次鶴ヶ島市総合計画策定基本方針に基づき、若手職員の意見も取り入れながら、まちづくり審議会の審議を中心に、具体的な検討を進めている。

問 第6次総合計画に当たって、見えてくる本市の課題は。

答 少子高齢化への対応や財政基

盤の改善を行い、将来にわたって市の活力を維持することである。

問 まちづくり審議会における審議状況は。

答 本年度、既に3回の会議が開催され、総合計画の中でも特に重要となる基本構想に集中して審議いただいている。今後は、基本計画も一体的に審議していただく。

問 第6次総合計画で考えている



市役所庁舎

土地利用構想は。

答 整備された居住空間と身近に残る自然を活かし、人と環境が共存する持続可能で計画的な土地利用を図るという方針は維持したい。

問 市長が考えている目指すべき本市の将来像は。

答 将来にわたって本市が活力を維持するため、年齢構成の変化と人口減少に対応し、職員、市民、関係団体等が目指すべき方向性を共有できる将来像を検討していく。

Q 富士見緑地通りの樹木管理について

まつお たかひこ 松尾 孝彦 議員



A 周辺住民に配慮した適正な管理を行っていく

問 樹木を起因とした周辺の方への影響について。

答 時期を問わず発生する大型の台風や強風などにより、倒木や折れ枝などの被害が発生し、周辺住民の生活に影響を及ぼす。

問 樹木の点検・診断・景観について。

答 樹木の点検は、公園樹木管理業務の中で、業務委託の作業時に、目視により実施している。樹木医による診断は行っていないが、委託業者の点検結果を受けて、市の職員が伐採等の判断を行っている。また、自然災害に備え、場所により強剪定を行うが、自然な樹形に

配慮した剪定により景観の形成にも努めている。

問 今後の維持管理計画について。

答 本年度から令和3年度にかけて、住宅が多く隣接している富士見四丁目から富士見三丁目地内の樹木の伐採を予定している。また、4年度と5年度には、工場に隣接した樹木の伐採を行う予定である。今後も安全確保に努め、周辺住民に配慮した適正な管理を行っていく。

◎その他の質問

- 一 介護人材の確保について
- 二 英語教育の取組について

